

法務翻訳サービスがまだ必要な 4 つの理由:

法務翻訳会社を利用した場合と AI 翻訳のみの比較

	生成系 AI のみ	プロの法務翻訳会社
<p>法的責任</p> <p>品質に関して法的責任を負うことのできる翻訳プロバイダーを置くことで、関係者全員の保護につなげることができます。生成系 AI は翻訳作業の支援には優れていますが、翻訳内容の完全性と正確性を保証するには、法的責任を負う一人以上のレビュー担当者が必要になります。</p>	<p>法的責任を負えません。 以下のことはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 訴訟 • 制裁措置 • 法廷侮辱罪による起訴 • 不正確な翻訳に対するその他の罰則の適用 	<p>以下のような法務翻訳に必要な法的責任の要件を満たします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 宣誓翻訳 • 認定翻訳
<p>複雑な法律問題</p> <p>信頼できる確かな法務翻訳サービスの提供には複雑な法律問題に対処できる能力が不可欠であり、生成系 AI は必ずしもこうしたサービスを目的として開発されていないため、どうしても人間の介在が必要になります。法務翻訳会社は、翻訳作業の効率化を図る目的で生成系 AI 技術を活用する一方で、複雑な法律問題に対応できる法律の専門家によるサービスも提供することができます。</p>	<p>特に翻訳対象の分量が多い場合に翻訳をより効率よく処理できます。</p> <p>推論や創造的思考には対応できず、学習したことを機械的に繰り返すことしかできません。</p>	<p>法務関連の知識で生成系 AI をトレーニングできます。</p> <p>以下のことを理解して対応できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 条項や単語の変更 • 口語表現 • 新しい判例や解釈 • 国や地域による法律の違い • 一般的な業界の背景 • 社会文化的背景 • 法律用語 • 国による法律用語の違い • 法律文書の文章構造
<p>誤りの捕捉と修正</p> <p>法務翻訳では高度な正確性が求められ、小さな誤りが大きな問題の原因になることがあります。</p> <p>例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 契約が無効となる • 一つの誤りによって書面全体の信頼性が失われる • 法律の誤った解釈と適用 	<p>いわゆる「ハルシネーション」といった誤情報が提供されることがあります。</p> <p>一般的に使用される言葉は巧みに翻訳します。</p> <p>一般的でない言葉は翻訳できません。</p> <p>各国の法律用語にはそれほど対応できません。</p>	<p>生成系 AI による「ハルシネーション」を見つけて修正できます。</p> <p>一般的な言葉と、そうでない言葉で法律文書を翻訳するためのトレーニングを受けています。</p>
<p>ロジスティクスの課題</p> <p>生成系 AI によって法務翻訳の効率を向上させてコストを削減することはできませんが、生成系 AI には法律文書を安全かつコンプライアンスに従って転送するための専門知識や経験はありません。</p>	<p>法律文書をハッキングやサイバー攻撃の可能性から保護できません。</p> <p>法律文書やコンテンツがサイバー攻撃にさらされる可能性が高くなります。</p> <p>特定のデータの転送に関する各国それぞれの法律や規制 (PIPL など) に対応できません。</p>	<p>米国の守秘義務の遵守に対応できます。</p> <p>GDPR の要件を遵守します。</p> <p>あらゆる規模の法律文書の翻訳に対応できるソリューションを開発できます。</p> <p>行き届いたカスタマー サービスを提供します。</p> <p>同一案件で法務通訳と法務翻訳の両サービスを提供することも可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 書面および口頭でのコミュニケーション全体を通して一貫性を確保 • コストを削減 • 管理上の負担を軽減